



# 平成24年度事業報告



平成25年3月16日

地域生活サポートセンター  
平林 景子

◇「地域密着型サービスの質の向上にむけたサービス評価の着実な実施と活用検討」

## 1. 地域密着型サービスの現状・ニーズを踏まえた実効性あるサービス評価の仕組み・評価項目・開示方法の検討

- 評価項目の改定・シート等の検討
- 評価結果および事業所基本情報の開示方法の検討

## 2. 評価機関・評価調査員の質向上と地域で均質的な研修を実施するための人材育成

- 評価機関実態把握の調査実施と情報開示
- 評価機関学習会の開催、ネットワークづくり
- 研修カリキュラム、テキスト、教材の改定検討
- 均質的な研修を開催するための人材育成 評価調査員から講師を養成

## 3. 都道府県・市町村のサービス評価に関する実態調査

- 都道府県、市町村別に実態調査を実施－サービス評価制度の取り組み状況を把握・分析

## 4. サービス評価の効果的活用と普及

- 「サービス評価地域会議」(都道府県内の事業所、評価調査員、市町村の合同勉強会)の開催推進
- パンフレット「サービス評価活用ガイド」(仮称)の作成と配布－活用事例を集約

## 5. サービス評価ホームページ、メールマガジンによる情報発信

# 1. 地域密着型サービスの現状・ニーズを踏まえた実効性あるサービス評価の仕組み・評価項目・開示方法の検討

## ◆実効性あるサービス評価に向けて

－根幹的事項－

- 事業所のサービスの質を確保・向上していくためには
- そのツールの一つがサービス評価だとすると、その機能は何か
- サービス評価について共通の理解はあるのか
- サービス評価の実効性はいかに
  - \* 時間の経過、時代の変遷、ニーズの多様化等に鑑みて、サービス評価のあり方の再確認が必要
  - \* サービス評価の効果検証を

## ◆評価項目等について

- 評価項目そのものの変更の提案はしない
- 21年度を機に合体・削除した項目や分かりにくい項目への対応
  - \* 現項目を掘り下げるための「冒頭項目」と「各項目のガイドラインの整理」

## 2. 評価機関・評価調査員の質向上と地域で均質的な研修を実施するための人材育成

### ◆均質的な研修におけた人材育成（講師役の養成） ★後程、1地域から発表があります

目的－評価調査員の中から推進役・研修講師を養成

対象－外部評価業務に精通し、経験が豊富な評価調査員

○実際の研修にて、「モデル養成」を実施、講師役の要件等の集約・検証

#### 養成数：全24名(12府県)

※岩手はプレ開催(6月)

岩手：2名

福島：3名

栃木：2名

新潟：2名

福井：1名

三重：2名

滋賀：3名

京都：2名

岡山：3名

香川：1名

長崎：2名

熊本：1名

### ◆評価調査員の力量向上におけた研修カリキュラムの検討

目的－本人本位の視点で訪問調査やサービス評価を行うための力を身に着ける

本人本位の見方や考え方を、センター方式を通して具体的に深める

○実際の研修(フォローアップ)にて、当該プログラムを作成し、実施・検証

#### 8県、全10回にて実施・検証

※岩手はプレ開催(6月)

岩手、栃木、滋賀(2回)、岡山、  
徳島、香川、山口、長崎(2回)

## 2. 評価機関・評価調査員の質向上と地域で均質的な研修を実施するための人材育成

### ◆評価機関実態調査

- ・評価調査員－基礎情報、研修状況、レベルアップにむけた取り組み
- ・評価手数料－金額の変更と、今後の変更の必要性
- ・審査委員会　・家族アンケート　・運営推進会議
- ・意見交換の場や機会　・地域づくり活動　　等

### ◆評価機関学習会

3月17日(日)10:00～15:00、於:TKP品川カンファレンスセンター(東京)  
86名(71機関)参加予定(3月8日現在)

- ◆本学習会開催後、同会場にて  
評価機関・評価調査員がつながるネットワークについて開催

### 3. 都道府県・市町村のサービス評価に関する実態調査

#### ◆都道府県を対象とした実態調査

- ・自己評価、外部評価の実施—各実施率、隔年実施状況、外部評価の確実な実施への取り組み
- ・評価機関・調査員—評価機関に対する取り組み、評価手数料、研修状況
- ・自己評価・外部評価の周知、活用状況
- ・全般的な課題 等

#### ◆市町村を対象とした実態調査

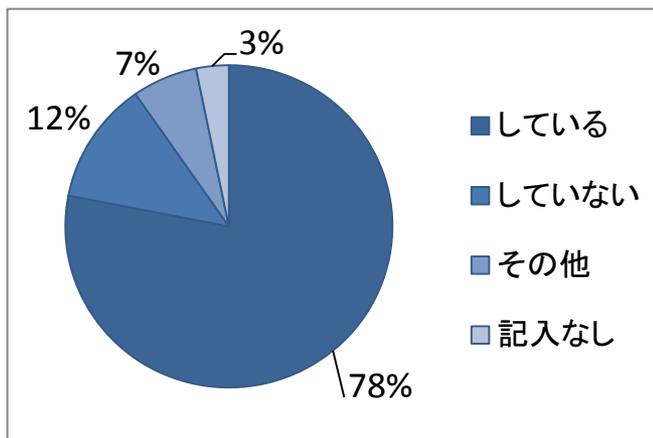
- ・自己評価、外部評価実施状況の把握
- ・制度への要望や課題 等

※啓発パンフレット(後述)を同封して実施。FAX回答。

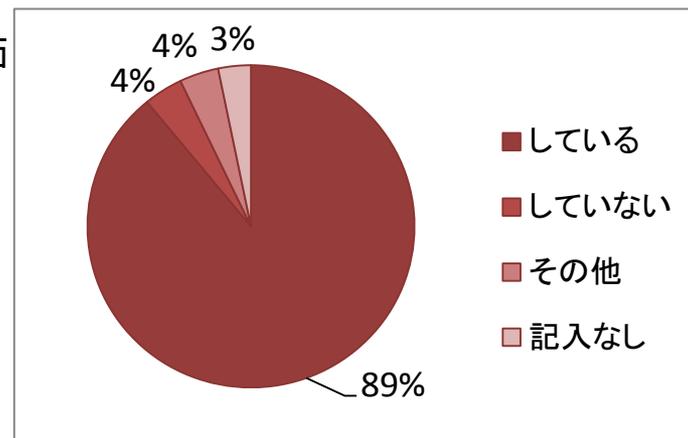
- ・サービス評価の確実な実施や活用にむけた取り組み

中間回答数:310市町村(内、広域連合8)(3月8日現在)  
※対象数:1670市町村(東京都を除く)

●自己評価  
実施状況  
の把握

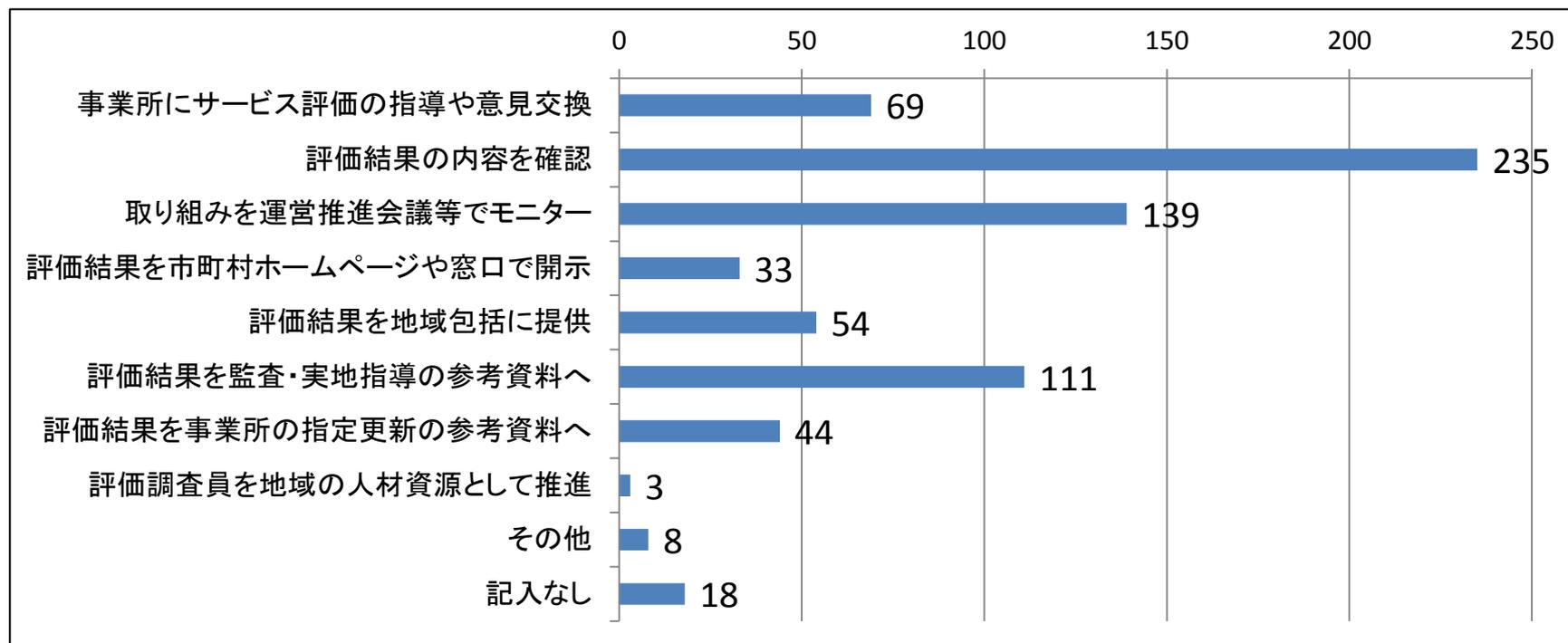


●外部評価  
実施状況  
の把握



### 3. 都道府県・市町村のサービス評価に関する実態調査

●サービス評価の確実な実施や活用にもつ、市町村が実施していること  
(複数回答)



●制度への要望や課題(抜粋)

- ・改善の必要性やその後の取り組みをもっと明確に把握できるように
- ・前回評価と比較しやすくなるように
- ・評価結果には、良いことだけでなく、第三者としての視点で中立に
- ・事業所にも意識改革を
- ・制度自体の認知度が低い。積極的な周知を
- ・外部評価が十分に機能するための、市町村と都道府県の連携を
- ・評価調査員と市町村担当者の意見交換の場を 等

## 4. サービス評価の効果的活用と普及

### ◆「サービス評価 地域推進会議」の開催

★後程、2地域から発表があります

	開催日	道府県	主催者	参加人数				
				GH	小規模	市町村	評価機関・調査員	合計
1	8月11日	秋田	秋田県地域密着型サービス外部評価機関連絡会	25	8		50	83
2	8月24日	岡山	日本認知症グループホーム協会岡山県支部	54		3	18	75
3	9月20日	大阪	大阪府認知症高齢者GH協議会／日本認知症GH協会大阪府支部	49		3	23	75
4	11月9日	山口	やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク	65	18	7 (県含む)	12	102
5	1月22日	和歌山	福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課	81	7	21	31	140
6	2月7日	三重	三重県社会福祉協議会	14	4	3	25	46

### ◆パンフレット「もっと知ろう！もっと活かそう！サービス評価」

◇サービス評価の効果的活用のための啓発素材

・全国の事業者（GH・小規模）および市町村へ  
アンケート調査票とともに発送済。（東京都は除く）

・都道府県、評価機関 等へは、順次発送予定

